

市における合理的配慮事例（平成28年度上半期報告分）

○調査月・・・平成28年6月、平成28年9月

○調査結果・・・20所属から37件の事例報告（内容重複するものを含む）

場面	障がい種別	事 例 内 容
受付・窓口	視覚障がい	・視野が極端に狭いため、申請書の内容が分からず、記入欄等も判別できない方に、内容を音読し、本人署名欄以外は職員が代筆
	聴覚障がい	・市民病院に手話通訳者を配置し、受診申込・検査・診察等に同行し、病院職員とのコミュニケーションを補助
		・窓口にて筆談で対応する意思を示す「耳マーク」を設置し、申し出により筆談対応（筆談でも難しい場合は、必要に応じ、家族等に連絡し対応）
		・聴覚障がいにより発声がうまくできない方に代わり、他課等関係機関への電話連絡を代理で実施
	肢体不自由	・指等欠損で書類への記入が困難な方に、本人署名欄以外は職員が代筆し、ご本人が署名欄を記入されている時には、「ゆっくりで結構です」と声掛けを実施
		・車いすの方と話すときは、少しかがんで目線が合う高さで話す
		・1階の案内から、自立歩行困難な方が相談を希望してみえる旨の連絡を受けたため、ロビーに出向き、車いすで窓口まで誘導すると伝えたが、車いす利用を拒まれたため、ロビーのいすで相談対応
	知的障がい	・ルビ入り説明文書を利用してわかりやすく説明し、説明文書を手渡しして、後で家族の方にも読んでもらえるように配慮
	精神障がい	・窓口で不安そうな顔色の方には、いつもより笑顔に努め、声のトーンも上げて、不安を感じさせないように穏やかに対応

場面	障がい種別	事 例 内 容
受付・窓口	精神障がい (認知機能低下)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくり大きな声で話し、紙に大きな文字を書いて理解してもらえるように対応
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口に認知機能の低下した高齢者が手続きに来庁された際、保健師や介護保険のケアマネジャーと連携をとり対応 ・ 市民病院から他院への転院に介護タクシーの利用が必要であったが、ご本人が高齢で認知能力が低下していたため、ご本人・ご家族の意向を確認したうえで、職員が代わりに介護タクシーを手配
	全ての障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口付近にみえたら、「どのようなご用件でしたか」とこちらから速やかに積極的に声かけを実施
移動・誘導	視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じイベントを定期的に利用している視覚障がいの方を、手を引いてイベント会場まで案内 ・ 付添いの依頼を受けたため、他課の窓口や、役所内での手続き完了後に、庁舎周辺の指定場所まで、手を引いて誘導
	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンセンターピットへのごみ投入において、本来は受付窓口で申請後、申請者自身のごみを運びピットへ捨てることとなっているが、足が不自由な方に対して、職員が代理で処理
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすの生徒が中学校体育館に入れるよう、入口にスロープを設置
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 守屋多々志美術館は、来館者用駐車場がないため、事前の電話等による申し出や来館時の受付での申し出を受け、建物脇の業務用駐車スペースを特別に開放
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 東庁舎はエレベーターがないため、車いすでの来庁者に対し、職員が本庁ロビー等まで出向き対応
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすの方が、ステージに登壇する際、ベニヤ板を渡して簡易スロープを作り、登壇できるように対応
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民病院において、面談室での面談が必要な足の不自由な方に対し、担当者が病棟を訪問し、面談を実施 ・ 役所にいくつか用事があったみえた際は、次の課まで同行して案内し、必要に応じて「ゆっくりで結構です」と声掛けも実施

場面	障がい種別	事 例 内 容
情報提供	視覚障がい	・ 文書を発送する際、封筒に大垣市の刻印を入れて市からの郵便物であることを示す
		・ 市ホームページに、文章を音声で読み上げたり、文字を拡大する機能を設定（ウェブアクセシビリティ推進事業）
		・ 文書の内容を音声で読み上げるためのデータが印刷された音声コード（SPコード）を作成し、視覚障がいのある方向けの文書に添付
講演会・イベント	聴覚障がい	・ 映画鑑賞会で、手話通訳の有無の照会があったため、手話ブースを設け、舞台挨拶及び上映内容の手話通訳を実施
	内部障がい	・ 施設見学会において、小児糖尿病インスリン治療のために、場所（小会議室）を提供
設備環境	肢体不自由	・ 総合体育館多目的トイレの鍵がかけにくいとの声を受け、障がいのある方も使用しやすい鍵に交換
	その他（皮膚炎）	・ 紫外線にあたると皮膚に炎症を起こす児童が他の児童と同じクラスで授業を受けられるよう、小学校の教室や体育館等の窓ガラスに紫外線カットフィルム・紫外線カットカーテンを設置